

神奈川県自然公園だより

富士箱根伊豆国立公園 丹沢大山国立公園 県立丹沢大山自然公園

2021 1・2月号 No.150

「丹沢の天気」

「こんなはずでは…。どんより曇り、そのうち霧が出はじめた。楽しみにしていた山頂からの景色が見えづがっかり、風も出始め寒さが身に染みる。登山前日、夜のテレビで、お天気キャスターがニッコリと『明日は晴れるでしょう』と言っていたのに…。」こんな経験一度はあると思います。

丹沢の天気は変わりやすく、予測が特に難しい山です。山は、海から風が入ると天気が悪くなるのが通例ですが、丹沢山地は東を東京湾、南を相模湾、南西を駿河湾と、太平洋に繋がる湾に囲まれた地形条件のため、北東から時計回りに南西までの方角から風が吹くと、海からの湿った空気が入りやすく、天気が崩れるのです。横浜や海老名、小田原では晴れているのに、丹沢だけ雲に覆われていることもよくあります。

登山の前には大抵、天気予報をチェックすると思いますが、その時に併せて天気図(予想図)を見て、高気圧の位置を確認するようにしましょう。高気圧では、中心を上から下へ吹き降りた風が周囲へ時計回りに吹き出しています。この高気圧の位置によって、予報が晴でも丹沢では天気が異なる場合があります。

真冬の関東は晴が多く安定していますが、山に入る前は是非、天気図を見るようにしてみたいかがでしょうか。(執筆:澤田)

※気象は色々な条件等で下記のことが当てはまらないこともあります。

参考文献…猪熊隆之、山岳気象大全、山と溪谷社、2011、320p

【高気圧の位置と丹沢の天気】



①高気圧の中心が丹沢山地の真上にある場合
晴になります。

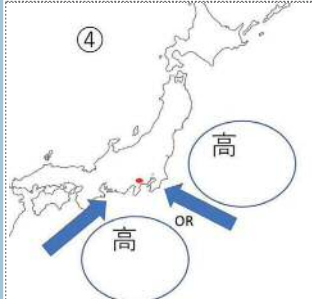


②高気圧の中心が少し東(千葉や茨城)にずれている場合

天気予報では横浜や小田原など関東平野は晴ですが、丹沢では雲が出ることが多く、天気予報とは異なってきます。



③高気圧が西日本にある場合
北西の風がアルプスを越えて吹き、空気が乾燥するので、丹沢は晴れます。



④高気圧の中心が紀伊半島沖にある場合
南の湿った空気が丹沢に流れ込むため、雲が低く垂れ込み風も強くなります。また、東の太平洋上に高気圧がある場合も同様に、雲に覆われた状況になります。



⑤高気圧が北にある場合
北東の風が太平洋上を通過して湿り気を運び、丹沢と関東平野南部は曇ります。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターの
Facebookページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

冬のバードウォッチングのススメ

秦野ビジターセンター

冬の自然観察といえばバードウォッチング。木々の葉が落ちて見通しが良くなり、直接姿を見やすくなるのが冬のバードウォッチングの魅力です。夏場はなかなか姿を確認できなかった野鳥たちも冬なら見られるかもしれません。

また、冬場でないと見られない野鳥もいます。秦野ビジターセンター周辺では冬鳥として北国から渡ってくるジョウビタキ、ツグミ、シロハラ、カシラダカ、アオジなど。漂鳥として山から平地へ降りてくるルリビタキ、ビンズイなども観察することができます。宮ヶ瀬湖などのダム湖や相模湾などの海辺に行けば、カモ類など、水辺ならではの冬鳥を観察できます。

この冬は防寒と感染症対策をしっかりと、のんびり野鳥観察をするのも良いのではないのでしょうか。(執筆:石川と)

※冬鳥、漂鳥の表記は神奈川県のもの。



ジョウビタキ



ツグミ



シロハラ



ルリビタキ



マガモ



キンクロハジロ

箱根山って?

「箱根山」はどの山なのかと聞かれることがあります。その時には、特定の山を指すのではなく、箱根にある全ての山や地域内を総称する名前なのですと答えます。例えば、登山客に人気の金時山や観光スポットの大涌谷、芦ノ湖なども箱根山の一部ということになります。

これから箱根にある山々を紹介しますが、その前に、40万年に及ぶ箱根火山の成り立ちについて少しだけ触れておきます。以前の説では、箱根の特徴的な外輪山の地形は、一つの大きな富士山型の成層火山が陥没してできたと言われていました。しかし、最新の研究によれば、複数の小さな成層火山の活動によって形成されたという説が有力となりました。箱根では幾度もの噴火が繰り返し起き、古い順に外輪山、前期中央火口丘、後期中央火口丘が生まれました。その中に点在する火山特有の景観や温泉が、観光地としての箱根の魅力となっています。箱根山を構成する山々(峠も含む)としては、外輪山には、鞍掛山・箱根峠・湖尻峠・長尾峠・丸岳・乙女峠・金時山・

箱根ビジターセンター

明神ヶ岳・明星ヶ岳・塔ノ峰など、前期中央火口丘には、鷹巣山・浅間山など、後期中央火口丘には、二子山(上・下)・駒ヶ岳・神山・冠ヶ岳・早雲山・台ヶ岳などがあります。

2015年に、箱根火山の観測史上初めての小規模な噴火が発生しました。その際、新聞やテレビでは箱根山が噴火したと報道されたため、箱根の全域が危険と思われ、観光客が激減する事態となりました。しかし実際には、神山北部の大涌谷の一部が噴火したとするのが正しいのです。(執筆:長田)



箱根山の概観(箱根ビジターセンター地形ジオラマ)

【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただきます場合があります。

編集・発行:公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階
TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932 ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援:丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索